

# あすりーと高岡



第24号

## ATHENS 2004

### オリンピック激励壮行会



大束選手



舛田選手



今泉コーチ

2004年7月9日 於：商工ビル

### 感動の涙・悔し涙は 生きる力の源

(財)高岡市体育協会 副会長 高 森 勇



感 謝 状

今年、アテネオリンピックの年、本市を含め、県全体で8名の選手が出場し、その活躍に大きな期待が寄せられている。私のオリンピックに対する思いは、学生時代、昭和三十九年の東京オリンピックで会場係員として、多くの感動の場面を目の当たりにしてから続いている。四年前のシドニー大会でも日本選手の活躍に声援を送っていた一人であるが、この年だけは、二〇〇〇年とやま国体と重なり、県の競技力向上対策本部の事務局長として、直前に迫った国体の本県選手のこと頭がいつばいであつたように思う。

当時の思い出に、今回アテネ大会の五十キロ競歩競技の代表となつた谷井孝行選手（当時高岡向陵高校三年）と二人で、国体に向けたテレビ番組に出演したことがある。彼は二年のインターハイで優勝し、地元国体で最も期待されて

この度、  
(財)高岡市体育協会  
副会長に任命され、責任の重さを痛感しています。

いた選手の一人であつたが、二ヶ月前の三年のインターハイでは、歩形違反による失格となつた。番組でそのことを聞かれると、「失格した悔しさをバネに、国体はもとより世界の舞台で活躍したい」という気持ちを素直に語っていた。

国体本番では期待どおり優勝を果たし、四年後の今年、見事オリンピックの代表を手にした。アテネ大会では、谷井選手はもとより、本県選手として同じ競歩に出場する山崎選手、バドミントンの舛田・大束選手、山田選手、カヌーの北本選手、ホッケーの石田選手のほか、平成六年度の富山インターハイや富山国体の選手として来県したなじみの選手も多く、日本選手の大活躍を期待したい。

私は、スポーツで経験した感動の涙や悔し涙は、選手一人一人のその後の人生はもとより、それを支え応援してきた多くの人にとつても、生涯を通じて生きる力を与え続けてくれるものと思つている。

今後とも、スポーツ活動が市民に定着し、(財)高岡市体育協会が一層発展することをお祈りして、就任のご挨拶といたします。



totoの収益は、身近に親しめるスポーツ環境の整備や競技力向上の事業に活かされます。

## 平成十六年 評議員会・ 体育功労者表彰式

平成16年5月29日(土)  
於 ホテルニューオータニ高岡

平成15年度事業・収支決算の報告後、役員改選として平成16年度の事業計画および収支予算(案)が審議、承認された。評議員会終了後、体育協会又は加盟団体の育成に尽力、国際・国内競技大会の上位入賞者の表彰式がおこなわれた。受賞者・役員は次のとおりです。

### 表彰状

- 個人の部
  - 吉竹 義治 (空手道連盟)
  - 中村 安治 (ラグビーフットボール協会)
  - 今井 紀夫 (バドミントン協会)
  - 酒井 将之 (バドミントン協会)
  - 木下 政彦 (バドミントン協会)
  - 舛田 圭太 (バドミントン協会)
  - 大東 忠司 (バドミントン協会)
  - 大東 真也 (バドミントン協会)
  - 坂田 芳寛 (水泳協会)
  - 増山 香織 (水泳協会)
  - 堀 郁夫 (卓球協会)
  - 塚本 進 (卓球協会)
  - 大野 栄作 (卓球協会)
  - 石井 忠雄 (卓球協会)
  - 滝田 悟 (パワーリフティング協会)
  - 中島 諭正 (パワーリフティング協会)
  - 安吉 永興 (パワーリフティング協会)
  - 田中 千里 (陸上競技協会)

### 団体の部

- トナミ運輸(株)バドミントン部 (バドミントン協会)
- (株)タカギセイコー女子ソフトテニス部 (ソフトテニス連盟)

### 感謝状

- 六野 一郎 (ゲートボール協会)
- 加藤 福蔵 (銃剣道連盟)
- 稗田 満勇 (高岡野球協会)
- 山本 清行 (ソフトテニス連盟)
- 大村 忠正 (陸上競技協会)
- 中村 勇進 (スケート連盟)
- 保里 秀光 (ソフトボール協会)
- 上田 彰 (バレーボール協会)
- 藤内 隆治 (レスリング協会)

### 役員を選任

- 退任
  - 副会長 宮崎 外行 荒井 武夫
  - 専務理事 佐野 徹郎
  - 理事 糍谷 詔夫 京田 和男
  - 魚谷美佐栄 内多君智世子
  - 藤井 秀盛 坂林 恭行
  - 浦上 樹
- 新任
  - 副会長 高森 勇 多田 慎一
  - 専務理事 高橋 源吾
  - 理事 河村 博之 蓮沢 清幸
  - 吉岡 茂喜 末坂 進
  - 小本 芳郎 明野美和子
  - 高野 真喜 谷 繁信
  - 桃井 浩章 越前 敏文

### 事務局の異動

- 旧 事務局長 梅田 康宏
- 新 事務局長 山田 勝俊

## 第五十七回

## 高岡市民総合体育大会

6月26日(土)、市民体育館において橋慶一郎市長(大会長)をはじめ、畠起也議長・深島丘也教育委員や関係団体長のご臨席のもと総合開会式を開催した。大会プラカード保持者・櫻井修平君、選手代表宣言は宮本朋彦君(両者とも高岡商業高校)と高校生の活躍が目をつけた。そして、7月3日(土)・4日(日)の中心会期を前後に、市内一円で34競技、役員・選手約一万人の老若男女が熱戦を繰り広げました。



## 第五十七回

## 富山県民体育大会

7月31日(土)～8月2日(月)

### (二部) 総合成績

- 一般の部
  - 一位 富山市 (一七五点)
  - 二位 東西砺波郡 (一一五点)
  - 三位 高岡市 (一〇〇点)
  - 四位 黒部市 (九四点)
- 10年連続51回

### 中学の部

- 一位 富山市 (一一三點)
- 二位 高岡市 (八〇点)
- 三位 東砺波郡 (五六点)
- 四位 水見市 (五一一点)

寂しい結果となった。

### 平成十六年度

## 全国中学校体育大会出場者

- 南星中学校 江尻 賢人(水泳)
- 志貴野中学校 橋田 祐里(水泳)・田中 ゆい(水泳)
- 大谷 千夏(水泳)・柴田 真衣(水泳)
- 川淵絵理可(水泳)・西田 光(水泳)
- 伏木中学校 柴田 莉奈(水泳)・西浦 太朗(柔道)
- 杉本 光(陸上)
- 国吉中学校 伊東 寿美(水泳)
- 中田中学校 朝日 美佳(柔道)・竹内 愛美(柔道)
- 荻布 優子(柔道)・竹内 優香(柔道)

## スポーツドクター・アドバイス

高岡市民病院 医療局長

整形外科 山田 均

# 膝の半月板損傷について

膝の関節は体中で最も大きい関節で、スポーツの多彩な動きにより、種々の負荷がかかります。このためスポーツによる膝のけがや障害の頻度も高く、その病状も様々です。この中で比較的頻度の高い外傷として半月板損傷があります。半月板は大腿骨と脛骨からなる膝関節のいわばクッションの働きをしている軟骨です。内側と外側にあり、上からみると三日月状で、骨と骨の隙間に適合するように周辺が厚く、中心部が薄くなっています(図1)。ジャンプの着地のような垂直方向の力、旋力や強い圧迫力にもその衝撃吸収機構が働きます。しかし、その外力があまりに強いと衝撃に耐えられず、断裂してしまいます。断裂形態は図2のように変化に富んでいます。こうなると、本来安定しているクッションとしての半月板が膝の中でずれるために、様々な痛みを生じてきます。これが半月板損傷という状態です。膝をピンと伸ばすと痛い、しゃがむと痛い、捻ると痛い、時に膝がはずれるような感じがあるなどの症状が出現します。このため運動中、思い切った踏み込み、ジャンプ、切り替えしなどが痛みと不安のためにできなくなります。やがて、普段の歩行でもかばって歩くようになり、徐々に下肢の筋肉がやせてきます。そうなると悪循環で、さらに痛みが強くなってきてしまいます。半月板の血行は周辺1/3しかありません。したがって、血行のない部分で断裂を生じた場合、自然治癒はありませんし、逆に断裂が拡大するにつれ症状は強く現われることとなります。診断は膝を捻るなどの特別な検査法で、ある程度予測はできますが、確定診断には軟骨を映し出すことができるMRI検査が大変有効です。この検査でもみえにくいような場所の断裂、あるいは小断裂については直接膝の中を

内視鏡で調べる関節鏡検査が確実です。治療は症状が軽い場合には運動量を軽減するなど対処できますが、症状が強い場合には手術が必要です。血行のある周辺部分で、断裂形態が単純な場合は半月板縫合といって縫い合わせる方法も選択できますが、そうでない場合は断裂部分だけ、部分的に切除するという方法がとられます。手術は関節鏡視下に行われることが主流です。

また、半月板の形の異常として円板状半月板があります。これは中心部も厚く、三日月状ではなく、いわば丸い座布団のような形の半月板で、生まれつきのものです。このタイプの半月板は通常の半月板より構造上断裂しやすいため、若年層の半月板損傷によくみられます。また、半月板に似たような症状を呈する病態として、関節の袋のひだの異常(滑膜ひだ障害)といったものもあります。

競技選手の場合は早く診断をつけて、適切な治療をうけて、早期復帰することを薦めます。最近では活発な中高年アスリートが増えてきており、膝の変形だと思っていたら半月板損傷だったという例が多くみられます。年齢だけで自己判断しないほうがよいと思います。

図1 右膝半月板を上方からみた図

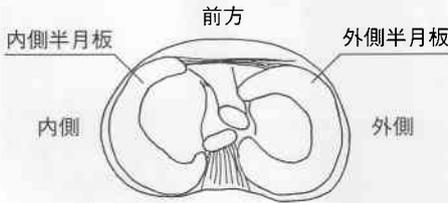
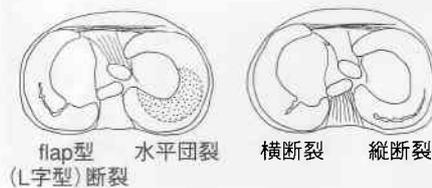


図2 半月損傷の型式



## スポーツアングル

便利な生活の中で育ち、塾や習い事で忙しい今の子供たちは、体を動かす機会が減り、体力低下の問題が指摘されています。しかし、それ以上に問題なのは二極化が進んでいることです。スポーツをやっている子はやっています(高岡市の5年生のスポーツクラブ等の加入率は男子65%女子36%)、逆に体育の時間以外には、ほとんど体を動かさない子供が増えています。

幼稚園から小学生くらいまでは、いろんなことをやって遊ばせるのが大事だと思います。遊びの中でボールを扱ったり、かけっこをしたりして、その中から関心のあるスポーツを選んでいくという形が望ましいと考えます。

また、親のかかわりも大切です。食事面での配慮も含め、親の協力、考えが大きく影響してきます。

スポーツは、子供の体と心の発達に大切な役割を果たします。子供の時にいろんなことにチャレンジして、自分ができるなかつたことができるようになる喜びは何ものにも代え難いと思います。それを感じる一つの良い「場」が遊びであり、スポーツだと思います。

その点で、体育協会が主催している「土曜っ子スポーツチャレンジ」は、とても時宜にかなった取り組みだと思います。「仲間・時間・空間」の3つの「間」を提供し続けることで、スポーツ好きの子供が増えていくことに期待しています。

ラグビー協会理事長 柴田 正弘



totoの収益は、身近に親しめるスポーツ環境の整備や競技力向上の事業に活かされます。

## 加盟団体紹介(35) 高岡市ゴルフ連盟

高岡市ゴルフ連盟がスタートしたのは、国民体育大会の正式種目としての競技団体の仲間入りをする事がほぼ見通しのついた平成9年10月のことでした。

ゴルフ百年の歴史から見ると遅きに失した感がしなくてもありません。ゴルフ連盟の誕生に至るまでは克服しなければならぬ大きな課題を抱えての設立であったし、この事が現在も他の市町村において一定の組織運営活動がされていないところにも現れていると思います。

競技を行うには、広大な用地と莫大なコース管理と運営費が不可欠であり、加えて民間企業の所有物であり、プレー料金が他の種目に比べて破格のものという大きな壁がありました。こうした問題の下、ゴルフ場の協力と理解を得てスタートしました。

ルール・マナー・エチケットを基礎に技能はもとより精神力・集中力が求められコースコンディションが常に変化をする中、それに対応できる経験と技術が必要な競技です。

とは言っても体力・年齢・男女差は如何でもしかたが無くこれを合理的に各々の能力に応じてハンディキャップを付与するというシステムで、生涯スポーツとして老若男女が一同に会してプレーや競技を楽しめるといふ所に、他のスポーツに無い特徴があります。

活動を初めて八年を経過しましたがまだまだ他に誇れる成績を残すまでに至っていません。

しかし、単に県体・国体への出場、競技での勝ち負けだけを目的にはせず、「審判のいない、自分自身が己を律して4時間という長時間の競技に堪える」



この事が人間形成に大きく役立つという理念のもとジュニアの育成を中心に広く底辺の拡大に取組んできました。

今後とも住民ゴルフ大会、校下対抗ゴルフ大会、市民総合体育大会・シニアゴルフ大会などの競技に精力的に取組み他市町村の模範となるべく事業を実施してまいりたいと考えております。

明年9月には『日本スポーツマスターズ』が当県で開催され、高岡市にて『女子の部』が高岡カントリー倶楽部を会場にして二日間の熱戦が闘われます。

地元として、優勝を狙うのは当然ですが運営面においても万全を期し、楽しい思い出を創って帰って頂きたいと当連盟も準備を進めています。

高岡市体育協会に加盟しておられる皆さんのゴルフへの理解とプレーを楽しんで頂くことを祈念して所感とさせていただきます。

平成16年度

## 土曜っ子スポーツチャレンジ



平成16年度土曜っ子スポーツチャレンジ第1期「走る・跳ぶ・投げる運動」が5月から7月にかけて全6回実施されました。荒天による順延が2回ありましたが、参加児童は、元気いっぱい色々な運動に汗を流しました。

## 柔道ルネッサンス キャッチフリース入選

柔道ルネッサンスとは、現在の柔道が国際化、競技化、スポーツ化が進み競技成績や勝敗が注目されているが、21世紀を迎えた今こそ嘉納治五郎先生が提唱された柔道の原点に立ち返り、人間教育を重視した事業を進めようとする講道館・全柔連の合同プロジェクトです。

その一貫として、全国の小学生から友情、夢、挑戦、敬愛、礼節をテーマにキャッチフリースが公募され、関岡真衣さん(戸出東部小学校6年生)の「広げよう！友情の輪を柔道で」が5・6年生の部でみごと入選しました。



### 編集後記



今号が発行されるころは、世界一流選手との競演が繰り広げられたアテネ五輪の余韻が漂っていることでしょう。

高岡市縁の選手たちも多く参加しています。次号で彼らの活躍がお伝えできることを願っています。